

海と山の縄文ムラ交流を深める！ ～第18回陸平縄文ムラまつり～



海辺の陸平ムラと赤城山麓の道訓前ムラとが、お互いの地域の特産品
塩と土器とを交換し、親交を深めました

道訓前遺跡は群馬県渋川市の赤城山麓にある縄文時代の集落で三原田式土器と呼ばれる地域限定の縄文土器が多く出土しています。この土器のかけらが美浦村の大谷貝塚で出土し、はるか4000年も前から交流があったことがわかりました。

交流セレモニーに出演した安中小6年生は、手作りの土器を持って登場し、ひとりずつ自分の土器を紹介しました。

写真は、陸平ムラの中島村長が道訓前ムラの長谷川村長に塩を手渡しているシーン。



火おこし体験。うまく火が起きたかな



かかしコンテスト第1位



はるかに はるかに 時はすぎても
タブの木はゆれ かわらぬ風が吹く...

♪おかだいらよはるかに♪

黄金の波に 空舞うあかね 青く抜けるや 縄文の里（陸平縄文ムラまつりより）

第18回 陸平縄文ムラまつり

さわやかな秋晴れの10月25日(日)、陸平貝塚で第18回陸平縄文ムラまつりが開催されました。(主催：陸平縄文ムラまつり実行委員会)

今回は、安中小学校の参加をはじめ群馬県渋川市の道訓前ムラの人々も陸平を訪れ、大いに盛り上がりました。

ステージでは、交流セレモニ―や縄文太鼓はじめ安中音頭や陸平音頭、お囃子、コーラスの演奏や披露、クロマティックハーモニカコンサート、かかし俚謡コンテスト、お楽しみ抽選会がおこなわれました。

会場内の各ブースでは、縄文クッキーや縄文土笛、火おこし、弓矢、綿の種取り、糸紡ぎ、昔の遊び、絵手紙、うた詠み、レスキューなどのさまざまな体験コーナー、土器による煮炊きや縄文土器製作の美演、餅つきや豚汁、鮎焼き、焼き芋などたくさんの美味しいコーナーがあり、会場を訪れた多くの人々がまつりを満喫していました。

会場の中央では、かかしコンテストに出品された可愛いかがしが展示され、来場者の目を惹かせてくれました。かかしコンテストは来場者の投票により、また、俚謡コンテストは作品数が多いため、事前に中島村長、門脇教育長、正調俚謡「日和吟社」による審査が行われ、各賞を発表しました。俚謡は明治の頃より安中地区で盛んにおこなわれてきました。来年は皆さんもぜひつくとって参加してみませんか。

今回も会場内では美浦中学生がクリーンボランティアで活躍してくれました。

まつりの開催にあたりましては、参加団体や村内企業の皆様から多くの協賛金や商品などをご提供いただきました。ありがとうございました。



石の道具でドングリをすりつぶしています



縄文太鼓の音が天高く響きます



木原地区で継承されているおはやし



的をめがけて...

陸平賞
黄金の波に 空舞うあかね
青く抜けるや 縄文の里 (西木裕次郎)

日和吟社賞
舞う手しなやか 後れ毛ゆれて
色香ほのぼの ムラ祭り (浅野つとむ)

中学生の部
秋にたくさん お米がとれて
祭にきやか 月を見る (小泉茉莉)

小学生の部
みんなおどろよ あんじゅうおんど
もみじろとる おかだいら (金子遙)

俚謡コンテスト

3位 コリラックマ
安中育成会 (日暮乙葉、波多野瑠奈、飯塚華梨、安藤友羽、飯田純吏、富田麻央、依優衣、坂部嘉凛、石神凜桜、浅野瑞季、梅澤このみ、坂部友麻、諸岡舞、小山芹奈、小山来夢)

2位 ツムツム
安中育成会 (安藤菜都、糸賀蒼唯、金子遙、鎌形菜緒、富田藍、林明香、山来夢)

かかしコンテスト



高音のハ一毛三カの音色が陸平の森に響きわたりました



体験コーナーは子供たちで大盛況



かかしコンテスト 2位



安中小みんなで安中音頭



かかしコンテスト 3位

大谷貝塚をさぐる！第1回

大谷貝塚は美浦郵便局の裏、現在建設されている国道125号バイパスの中に位置しています。貝塚は縄文時代前期（今から5,500年前）と中期（今から4,500年前）に形成され、貝塚からは非常に多くの遺物が出土しています。出土品を通して大谷貝塚の縄文人の暮らしをかいまみてみましょう。

——バンドウイルカの歯で作った垂飾——

大谷貝塚では、前期の貝層からバンドウイルカの歯に両面から穴をあけたものが12点出土しています。ひもを通してペンダント、あるいは根付のように利用したと考えられます。

バンドウイルカは世界中に生息する体長2〜4m位のイルカです。大谷貝塚近くにイルカがいたのでしょうか。他の骨が出土していないことから考えると、歯だけが、大谷に運ばれてきたのではないかと推測されます。完成品が持ち込まれたことも考えられますが、穴のない歯も出土しているのです、大谷に住む縄文人たちが石の錐などで穴をあけたのではないのでしょうか。

石川県の真脇遺跡では、縄文時代前期末から中期初頭にかけての層からイルカの骨が大量に出土しました。各地の海でイルカ漁が行われ、浜にイルカが打ち上げられることもあったことでしょう。1頭のバンドウイルカからは大量の肉とともに、約80本の似た形の歯も得られます。

大谷の人たちは、イルカのジャンプする姿、賢さ、おいしい肉などについて伝え聞き、憧れの生き物、神からの贈り物の象徴として、この歯を身に着けたことでしょう。

（阿部きよ子）

※バンドウイルカの歯で作った垂飾は現在、文化財センターにて展示しています。



●バンドウイルカ製垂飾

美浦村の地名10

木原地区（その2）

木原地区は美浦村になる前は木原村でしたが、それは戦国時代の永正3年（1506）に木原城の城主であった近藤式部大輔藤原利勝が神越村を木原村に改めたことによると伝えられています（永巖寺伝）が、「木原」の名称は城の名称として先に古文書に表れてきます。

いませんが、戦国の世には古墳も何か城に関わる施設として利用されていたかもしれません。ほかに、オサエン（御茶園）、マカド（摩迦陀）、イヤリ（居継）、カンジョウザカ（堪丈坂）、ネコゴ（猫子）などの名称がみられます。

木原城址から霞ヶ浦にかけては前回ご紹介したように木原城との関連で町並みがつくられ現在に至っていますが、周辺にはほかにどのような地名がみられるのでしょうか。

木原城址から布佐地区方面には、センゲツ（清月）、トウザキ（東崎）、ユキタケ（行竹）、ダイボウ（大坊）、ハラ（原）、日本テキサイン

ツなどヤツ（谷津）、ヨコヤマ、タカヤマ、ネビヤマなどヤマ（山）、オオヌマ、キジヌマなどヌマ（沼）がつくものなどがあります。また目標となる松があつたのでしょうか、ニホンマツという名称もみられます。

スツルメンツ方面には、シロハタ（白簾）という名称があり、そこには古墳群が確認されています。調査が行われていないため詳しくはわかって

木原地区は戦国時代の木原城址築城や町並み整備により、古代の頃に比べて地形が大きく変わった場所もあると考えられます。そのような中でその土地や場所の歴史を知るヒントが地名に隠されているといえます。

文化財センター体験のご案内

みなさまのご参加をお待ちしております！

開催場所、申込み先は文化財センター ☎029-886-0291

※休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は火曜日も）、年末年始（12/28～1/4）



みそを作ってみよう（要予約）

昔はみな自家製！地元の大豆でみそ作り。

- ◆日にち 2月5日（金）
- ◆時間 9：00～16：00
- ◆体験料 1500円
- ◆募集人数 10名（先着）
- ◆持ち物 ゴム手袋、マスク、白米1合
- ◆講師 美浦村食生活改善推進委員

※みそのお引渡しは12月頃になります。

ばいちょう 梅朝基礎落語

好文亭梅朝さんによる落語講座です。落語のあとに解説もあります。小学生以上どなたでも楽しめます。笑いと想像力で健康に！

- ◆日にち 第12回 12月6日（日）
- 第13回 2月21日（日）
- ◆時間 13：30～15：30

※事前申込み不要。無料。当日お越し下さい。

12月は「厩火事」「芝浜」

はた織り体験（要予約）

昔のはた織り機を使って生地を織り（さき織り）、マイバッグを作ります。

- ◆参加対象 ①さき織り（1日）と②バッグ作り（1日）の両日参加出来る方
- ◆募集人数 10名（先着） ◆体験料 1500円
- ◆体験日 ①さき織り ※申込み時に日にちを決めます。各日2名まで。
2月2日（火）、9日（火）、10日（水）、12日（金）、13日（土）
②バッグ作り 3月3日（木）
- ◆時間 9：00～16：00 ※織りの所要時間は半日～1日程度。個人差あり。
- ◆持ち物 さき織りの横糸（布を裂いて紐状にしたもの）、昼食（両日とも）
ミシン（お持ちの方）
- ◆講師 結



こくぞうかいづか 虚空蔵貝塚ミニ展示

文化財センターのロビーにて、虚空蔵貝塚のミニ展示を行っています。虚空蔵貝塚は大谷小学校にあった遺跡で、学校が建てられる前に発掘調査がおこなわれました。陸平貝塚、大谷貝塚の展示と併せて村内の3つの貝塚の資料をどうぞご覧ください。

村指定文化財の展示情報！

木原城址出土十一面観音立像（村指定）が茨城県陶芸美術館の企画展「いばらき工芸大全Ⅱ金工の巻」（平成28年1月2日～3月6日）で展示されます。ぜひご覧ください。
問合せ：県立陶芸美術館（☎0296-70-0011）

ワンポイント 古文書講座

文字を読んでみよう！
今回も地名です。



答えは今日のどこかにありますよ

陸平貝塚公園までの交通アクセス

- 【車】 by car
常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分
- 【バス】 by bus
JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km

